

令和4年度 指定管理者年度評価シート

1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉市大宮学園
条例上の設置目的	児童福祉法(昭和22年法律第164号)第6条の2の2第1項に規定する障害児通所支援を行う。
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	障害児療育の専門性を高め、質の高い療育を提供し、心身の健やかな発達や集団生活への適応を支援すること。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	心身に障害のある児童または心身の発達に遅れのある児童に対し、日常生活における基本的な動作の指導及び集団生活への適応訓練を行うこと。
制度導入により見込まれる効果	指定管理者制度導入により、市民サービスの向上と管理経費の縮減の効果を見込む。
成果指標※	① 施設利用者数 ② 利用者アンケートにおける利用者満足度
数値目標※	① 施設利用者数の増加(前年度比) ② 利用者アンケートにおける満足度9割以上
所管課	保健福祉局高齢障害部障害福祉サービス課

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	社会福祉法人千葉市社会福祉協議会
主たる事業所の所在地 (代表団体)	千葉市中央区千葉寺町1208番地2
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年)
選定方法	非公募
非公募理由	次の理由により、公募の方法によらず千葉市社会福祉協議会を指定管理者とした。 (1) 専門性の高いスタッフの確保 医師や専門職によるサービスの提供が求められるため、専門性が高く、スタッフの確保が困難である。 (2) 利用者等との信頼関係 利用者及びその保護者と現在の指定管理者との信頼関係が構築されている。 (3) より質の高いサービス提供 これまでの経験を踏まえた、より質の高いサービス提供が期待できる。
管理運営費の財源	指定管理料

3 管理運営の成果・実績

(1) 成果指標に係る数値目標の達成状況

成果指標	数値目標※	R4年度実績	達成率※
施設利用者数	施設利用者数の増加	8,629人(R3年度9,333人)	92.4%
利用者アンケートにおける利用者満足度	満足度90%以上	87.6%(R3年度89.6%)	97.3%

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

4 収支状況

(1) 必須業務収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目		R4年度	R3年度	計画実績差異・要因分析		
				差異	主な要因	
指定管理料	実績	269,618	274,637	実績－計画	△ 18,753	人件費不用額の返納
	計画	288,371	294,248	計画－提案	△ 16,511	人事異動による減
	提案	304,882	300,961			
利用料金収入	実績	0	0	実績－計画	0	
	計画	0	0	計画－提案	0	
	提案	0	0			
その他収入	実績	0	0	実績－計画	0	
	計画	0	0	計画－提案	0	
	提案	0	0			
合計	実績	269,618	274,637	実績－計画	△ 18,753	
	計画	288,371	294,248	計画－提案	△ 16,511	
	提案	304,882	300,961			

イ 支出

(単位：千円)

費目		R4年度	R3年度	計画実績差異・要因分析		
				差異	主な要因	
人件費	実績	196,026	203,347	実績－計画	△ 18,753	人事異動、休職、育児休暇等による減
	計画	214,779	222,958	計画－提案	△ 9,702	人事異動による減
	提案	224,481	223,701			
事務費	実績	13,424	13,413	実績－計画	△ 1,721	オンライン参加による研修参加費、旅費等の縮小による費用減
	計画	15,145	14,635	計画－提案	△ 2,293	執行精査による減
	提案	17,438	15,946			
事業費	実績	17,456	16,126	実績－計画	△ 460	新型コロナウイルス感染症に係る登園自粛等による給食食材料費の減
	計画	17,916	17,198	計画－提案	△ 2,408	執行精査による減
	提案	20,324	18,766			
委託費	実績	39,436	39,238	実績－計画	198	給食業務委託費増
	計画	39,238	39,134	計画－提案	△ 2,794	執行精査による減
	提案	42,032	42,032			
その他	実績	1,244	321	実績－計画	△ 49	契約差金
	計画	1,293	323	計画－提案	686	オンライン資格確認導入による増
	提案	607	516			
本社費・共通費	実績	2,191	2,193	実績－計画	2,191	区分間資金移動
	計画	0	0	計画－提案	0	
	提案	0	0			
合計	実績	269,777	274,639	実績－計画	△ 18,594	
	計画	288,371	294,248	計画－提案	△ 16,511	
	提案	304,882	300,961			

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

千葉市社会福祉協議会の各事業（指定管理事業、委託事業）予算額に応じて按分。

(2) 収支状況

(単位：千円)

		R4年度	R3年度
必須業務	収入合計	269,618	274,637
	支出合計	269,777	274,639
	収支	△ 159	△ 2
自主事業	収入合計	0	0
	支出合計	0	0
	収支	0	0
総収入		269,618	274,637
総支出		269,777	274,639
収支		△ 159	△ 2
利益の還元額			
利益還元の内容			

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績 (成果指標の目標達成状況)

評価項目	市の評価	特記事項
施設利用者数の増加 (前年度比)	C	8,629人 (R3年度9,333人)
利用者アンケートにおける満足度9割以上	C	87.6% (R3年度89.6%)

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

「施設利用者数の増加 (前年度比)」の評価方法

- A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上 (ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。)
- B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満 (ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。)
- C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満
- D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満
- E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

「利用者アンケートにおける満足度9割以上」の評価方法

- A：成果指標が市設定の数値目標の108%以上 (ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。)
- B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上108%未満 (ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。)
- C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満
- D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満
- E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

(2) 市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	A	11.6%の削減

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

- A：選定時の提案額から10%以上の削減
- B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減
- C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減
- (D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし)
- ：対象外 (市の指定管理料支出がない。)

(3) 管理運営の履行状況

評価項目		自己評価	市の評価	特記事項
1 市民の平等利用の確保・施設の適正管理	市民の平等利用の確保 関係法令等の遵守 リスク管理・緊急時対応	C	C	・千葉市大宮学園設置管理条例及び管理規則に基づき、適切に施設管理を行った。 ・安全管理マニュアル、事故対応マニュアル、感染症予防マニュアル等に従い適切に指定管理を行った。 ・毎月避難訓練を行った
2 施設管理能力	(1) 人的組織体制の充実 管理運営の執行体制 必要な専門職員の配置 従業員の能力向上	C	C	・職場内研修及び外部研修等の受講を推進した。
	(2) 施設の維持管理業務 施設の保守管理 設備・備品の管理・清掃・警備等	C	C	・日常点検・定期点検を適正に実施した。
3 施設の効用の発揮	(1) 幅広い施設利用の確保 開館時間・休館日 利用料金設定・減免 利用促進の方策	C	C	・設置管理条例及び管理規則に基づき、開館時間及び休館日を遵守した。
	(2) 利用者サービスの充実 利用者への支援 利用者意見聴取・自己モニタリング	C	C	・各ルームにおいてアンケートを年2回実施した。 ・意見箱を常置した。
	(3) 施設における事業の実施 施設の事業の効果的な実施 自主事業の効果的な実施	C	C	・継続して園児兄弟・姉妹預かり事業を実施した。
4 その他	市内業者の育成 市内雇用への配慮 障害者雇用の確保 施設職員の雇用の安定化への配慮	C	C	・積極的に市内業者を利用した。

【評価の内容】

- A：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
 B：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
 C：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
 D：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
 E：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) 保健福祉局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
利用者アンケートに親子通園の必要性を検証する質問項目を追加していただきたい。	令和4年度	親子通園の必要性を検証するため、令和4年度に「親子通園の希望回数」という項目を新たに設け、アンケートを行った。結果は、0回が0%、1回が62.5%、2回が25%、その他が12.5%という回答であり、親子通園の必要性が確認できたため、親子通園は引き続き継続する。

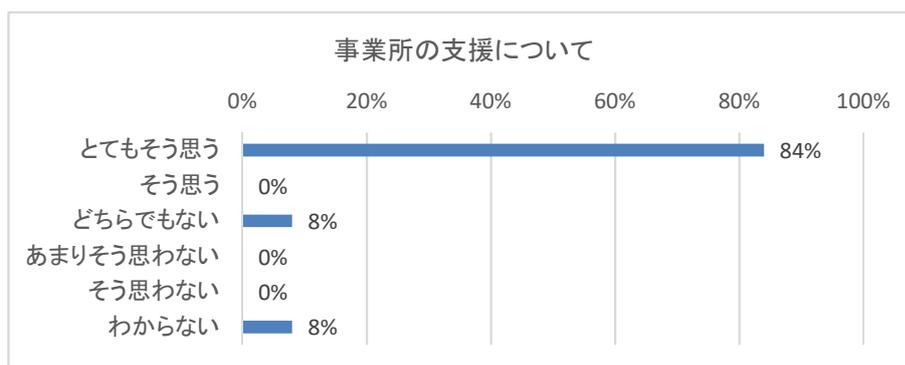
6 利用者ニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

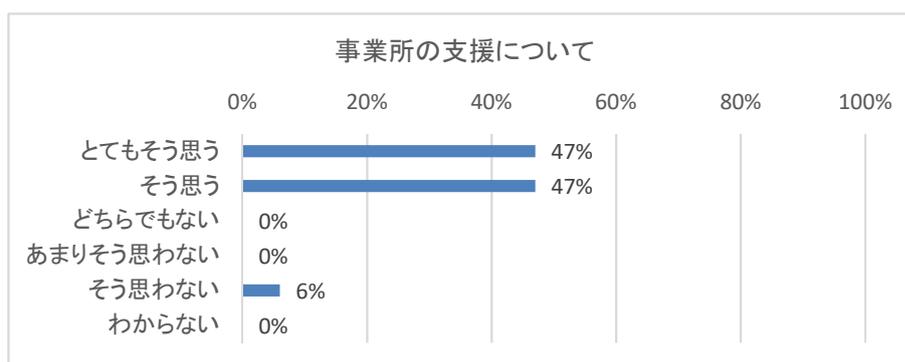
実施内容	調査方法	各施設にてアンケート用紙を保護者に配布し、施設利用時に回収（年2回）														
	回答者数	延べ148名														
	質問項目	・職員の配置数や専門性について ・療育内容について ・親子通園について ・個別支援計画について ・家族支援について等														
令和4年度実施アンケートより一部抜粋（詳細については、事業報告書P56～P109参照）																
利用者アンケートにおける満足度（成果指標） 事業報告書P56～P109より																
<p style="text-align: center;">利用者アンケートにおける満足度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>とてもそう思う</td> <td>56.1%</td> </tr> <tr> <td>そう思う</td> <td>31.5%</td> </tr> <tr> <td>どちらでもない</td> <td>5.7%</td> </tr> <tr> <td>あまりそう思わない</td> <td>1.4%</td> </tr> <tr> <td>そう思わない</td> <td>0.8%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>4.5%</td> </tr> </tbody> </table>			満足度	割合	とてもそう思う	56.1%	そう思う	31.5%	どちらでもない	5.7%	あまりそう思わない	1.4%	そう思わない	0.8%	わからない	4.5%
満足度	割合															
とてもそう思う	56.1%															
そう思う	31.5%															
どちらでもない	5.7%															
あまりそう思わない	1.4%															
そう思わない	0.8%															
わからない	4.5%															
各サービスの前後期における、全設問回答数である合計3,250の内、 「とてもそう思う」（56.1%）「そう思う」（31.5%）の割合の合計を成果指標（87.6%）とした。																
ア ひまわりルーム（前期） 配布数37、回答数31 回答率84% 事業報告書P60																
<p style="text-align: center;">事業所の支援について</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>とてもそう思う</td> <td>74%</td> </tr> <tr> <td>そう思う</td> <td>23%</td> </tr> <tr> <td>どちらでもない</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>あまりそう思わない</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>そう思わない</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>			満足度	割合	とてもそう思う	74%	そう思う	23%	どちらでもない	3%	あまりそう思わない	0%	そう思わない	0%	わからない	0%
満足度	割合															
とてもそう思う	74%															
そう思う	23%															
どちらでもない	3%															
あまりそう思わない	0%															
そう思わない	0%															
わからない	0%															
ひまわりルーム（後期） 配布数38、回答数32 回答率84% 事業報告書P70																
<p style="text-align: center;">事業所の支援について</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>満足度</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>とてもそう思う</td> <td>81%</td> </tr> <tr> <td>そう思う</td> <td>16%</td> </tr> <tr> <td>どちらでもない</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>あまりそう思わない</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>そう思わない</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>			満足度	割合	とてもそう思う	81%	そう思う	16%	どちらでもない	0%	あまりそう思わない	0%	そう思わない	3%	わからない	0%
満足度	割合															
とてもそう思う	81%															
そう思う	16%															
どちらでもない	0%															
あまりそう思わない	0%															
そう思わない	3%															
わからない	0%															

結果

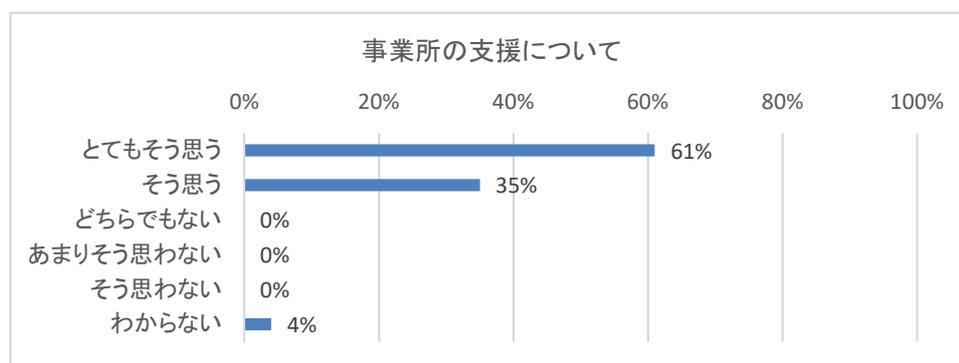
イ たけのこルーム（医療型・前期） 配布数13、回答数13 回答率100% 事業報告書P81



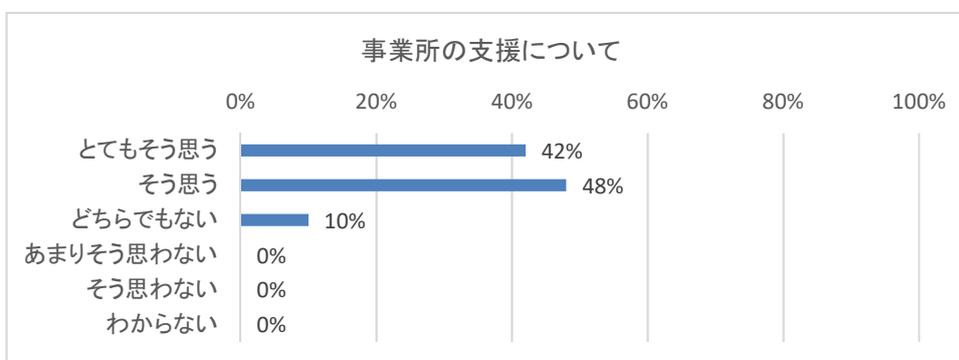
たけのこルーム（医療型・後期） 配布数15、回答数15 回答率100% 事業報告書P87



ウ たけのこルーム（児発・前期） 配布数29、回答数26 回答率90% 事業報告書P97



たけのこルーム（児発・後期） 配布数31、回答数31 回答率100% 事業報告書P105



(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

主な意見・苦情	指定管理者の対応
担任の先生とお話できる時間があればよいです。親子通園日や面談だけでは足りないと思います。	職員に話したいことや伝えたいこと、相談があれば、面談以外にも時間が取れることを周知し、お便り帳に希望を記入していただくようにしました。
園児の今後のことなどに対し、先生の意見が異なり困ったことがあります。職員間の意見は統一して保護者に話をしてほしいです。	職員間の申し送りや担当者会議等で適宜情報を共有することを徹底し、共通の認識を持つことで全職員が一貫した説明と対応をできるようにしました。
通所したばかりで、気持ちが不安になることから、部屋での活動で泣いていることが多いので、外で遊ぶことが好きなので、園庭で遊べる日が増えるとういと思っています。	外遊びや散歩の時間を増やせるよう、天候や気温に応じて療育内容を変更するなど流動的なプログラムの運用に努めました。

7 総括

(1) 指定管理者による自己評価

<p>総括 評価</p>	<p>C</p>	<p>所見</p>
------------------	----------	-----------

施設全般

- ・令和4年度も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、部屋の換気・人数制限・館内や玩具の消毒など、様々な感染防止対策を徹底したうえで、安心・安全な施設運営に努めました。また、開催日を分散したり方法の変更や工夫を行うことなどにより、事業計画に沿って日々の療育と各種行事などを実施しました。
- ・施設維持管理については法令等に基づき点検等を実施し、必要に応じ順次修繕を実施し、利用児が安全かつ快適に施設利用できる状態を維持しました。

ひまわりルーム

- ・令和4年度も、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で他集団への移行を希望する保護者向けの勉強会や、公立保育所や幼稚園との交流保育を行うことは出来ませんでしたが、移行支援として千葉市幼稚園協会・千葉市こども未来局幼保運営課に資料を依頼し、希望する保護者に配布し説明を行いました。保護者への情報提供や個別相談にも努め、1名が幼稚園に移行しました。
- ・新型コロナウイルス感染症に伴う登園自粛及び定員が充足していなかったことも影響し、前年度に比べ出席率の向上はできませんでしたが、アンケートによる利用者満足度は92.2%と目標の90%を越えることができました。また令和4年度親子通園についてアンケートを行った結果、内容については97%が満足しており、1ヶ月の回数については0回がよいという人は0人、2回以上希望と答えた人もみられ、概ね良好に受け入れられています。

たけのこルーム

- ・医療型児童発達支援センターでは、親子通園のメリットを生かし、子どもの発達に合わせた関わり方や遊び方などを療育の中で保護者に伝え、専門職による相談や助言を行ないました。また0歳児～5歳児までの分離を行い、保護者同士の情報交換の場を設けました。就学や移行に向けての保護者勉強会を開催し、相談に応じ保護者の不安の軽減を図りました。モノレール乗車体験や商業施設への買い物体験など、併せて行事の充実にも努めました。
- ・児童発達支援事業においても親子通園で保護者に子どもとの関わり方や遊び方を伝えたり、育児や発達の悩みへの相談に応じ、保護者の不安や負担の軽減に努めました。また、利用児の通う保育所や幼稚園を訪問して課題や支援の方向性の共有を図る等の地域連携に努めました。(保育所(園)・幼稚園訪問3件)保護者の親子分離を行い、保護者より要望のあった保護者同士の交流と情報交換の場を設けました。また低年齢のグループでは父親参観日を設け、日頃の療育の様子を理解して頂くとともに、父親同士の交流を図りながら、子どもへの関わり方などを伝えることができました。

(2) 市による評価

総括 評価	C	所見 <ul style="list-style-type: none">・保護者の利用児への理解の深化、及び利用児の生活の充実化を目的とした、運動会、劇発表会等の行事を可能な限り実施するため、開催日の分散や方法の変更、工夫を行った。・ひまわりルームでは、利用者数が昨年度よりも減少（R3：7,661人→R4：6,844人（817人減））したが、利用者満足度は97%となり、保護者ニーズに沿った満足度の高い支援を行った。・たけのこルームでは、利用児の発達状況をはじめとした保護者の悩みに対して、柔軟に個別相談を行った。また、兄弟・姉妹一時預かりや行事手伝いなど地域の方を積極的にボランティアに受け入れることで、地域の方の障害についての理解促進と同時に、保護者が安心して登園できる環境づくりを行った。
----------	---	--

【評価の内容】

- A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
- D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
- E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(3) 保健福祉局指定管理者選定評価委員会の意見

- ・財務状況については、本部会に提出された財務諸表等の資料を確認した範囲では、倒産や撤退等のリスクは認められず、特段の問題はないと認められる。
- ・管理運営については、概ね適切に管理が行われていると認められるが、次の事項に留意されたい。
 - ①次期の指定管理期間には管理運営の成果指標や評価の数値について再検討いただきたい。
 - ②引き続き、保護者の交流会や親子通園など利用者ニーズに応えられるような運営をお願いしたい。